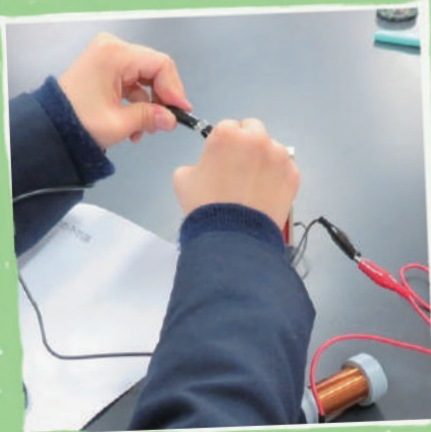


興味をキャリアへ あきた理系プロジェクト

【成果報告書】

令和元年度



2019.11



2019.08



2019.08



2019.11



2019.11



2019.11

はじめに

女子中高生のみなさんは、今、何に興味がありますか。音楽、小説、映画、YouTube、インスタ、美容、ファッション、ダイエット…きっとひとつに絞ることが難しいぐらい、たくさんのことに興味があるのではないのでしょうか。



今の自分にとって興味のあることが、将来の自分にどのようにつながっていくのか…少し考えてみてください。今の自分にとって大切なものが、これからの「こうありたい自分」「こうなりたい自分」にどのようにつながっていくのか…考えるだけでもワクワクしませんか？

でも、現実には目の前の様々なことに追われる日々ですよ。現実的なことのひとつが、進路や進学だと思います。もちろん自分が好きなこと、ずっとやれそうなのが直接、自分の将来につながるとは限りません。しかしだからといって、まったく興味がないのに偏差値だけで決めてしまうのも、自分で可能性を狭めている気がします。もちろん学校での学びや、友達や家族との会話も大切なのですが、それだけではなく、自分が「おもしろい」「楽しい」「これってすごい！」と思った感覚もぜひ大切にしてください。みなさんが考える以上に世界は広く、おもしろく、そしてつながっています。

さて、秋田大学は、今年度、科学技術振興機構（JST）の「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に採択され、「興味をキャリアへ あきた理系プロジェクト」が始まりました。「理系」と名前が入っていますが、この「理系」の中には、教科としての「理系」ではなく、むしろ「理系」的なセンス、見方や考え方など、幅広い意味が含まれています。きっとみなさんが考えている以上に、「理系」の範疇が広いことを実感されると思います。

今年度、どのようなことがおこなわれたのか、目を通してみてください。そして来年度も、さらに充実したプロジェクトを開催する予定なので、ぜひ参加してくださいね。

みなさんにお会いできること、楽しみにしています。

秋田大学男女共同参画推進室長 山名 裕子

令和元年度女子中高生の理系進路選択支援プログラム

「興味をキャリアへ あきた理系プロジェクト」業務成果報告書

目 次

▶ はじめに	01
▶ 取組紹介	
秋田県総合食品研究センター施設見学・交流会	04
果物からゲノムDNAを抽出しよう	06
DNA鑑定を体験しよう！	08
理系で広がる明るい未来 ～理工ガールの活躍する社会へ～	10
理系ツアー in横手	12
理系フェス in秋田	16
教員との意見交換会	18
▶ アンケート集計結果	
中学生・高校生	20
保護者	23
教員	26
▶ 新聞掲載記事	30
▶ 本プロジェクトについて	
背景・目的	34
概要図	35
▶ さいごに	36

本報告書は、国立研究開発法人科学技術振興機構との実施協定に基づき、
国立大学法人秋田大学が実施した平成31年度女子中高生の理系進路選択支援プログラム
「興味をキャリアへ あきた理系プロジェクト」の成果を取りまとめたものです。



取組紹介

秋田県総合食品研究センター施設見学・交流会

果物からゲノムDNAを抽出しよう

DNA鑑定を体験しよう！

理系で広がる明るい未来～理工ガールの活躍する社会へ～

理系ツアーin横手

理系フェスin秋田

教員との意見交換会

秋田県総合食品研究センター施設見学・交流会

国立研究開発法人科学技術振興機構 女子中高生の理系進路選択支援プログラム 採択事業
興味をキャリアへ あきた理系プロジェクト

事前申込制
申込期限
7/26(金)

秋田県女子中高生向けイベント第1弾

秋田県総合食品研究センター 施設見学・交流会

秋田大学からバスに乗って秋田県総合食品研究センターへ施設見学に行きませんか？
もちろん会場へ直接お越しいただいても構いません。保護者・教員の方の参加も大歓迎です。
秋田で活躍する研究者に会いに行きましょう！

【秋田県総合食品研究センター】

秋田県の食品産業を技術面から支援している県の研究機関です。しょっつるやギバサなど秋田ならではの農水産加工品の研究、県産食材の機能性の研究、日本酒をはじめとした酒類や味噌・醤油・いぶりがっこなどの発酵食品の研究を行い、食品企業の商品開発や加工技術のサポートをしています。

開催日：令和元年8月1日(木)

会場：秋田県総合食品研究センター(秋田市新屋町字砂奴寄4-26 Tel.018-888-2000)

日程：13:00 秋田大学手形キャンパス集合・出発
(会場へ直接行かれる方は13:30までにお越しください)

13:30 秋田県総合食品研究センター着・見学開始

14:30 研究内容紹介、質疑応答・交流会
(保護者・教員の方からのご質問も受け付けます)

15:10 秋田県総合食品研究センター発

15:40 秋田大学着・解散

対象：秋田県内の女子中学生・高校生と
その保護者及び中学・高校の教員30名以内
(応募者多数となった場合は先着順とさせていただきます)

申込：裏面をご確認いただき、メールまたはFaxにて、お申し込みください。

備考：当日は見学に必要な物は用意いたしますが、アンケートにご協力
いただきたいので、筆記用具をお持ちください。

保護者
教員の方も
是非ご参加
ください

※見学コースではエアコンが入っていない箇所があり、センターには
飲料の自動販売機がありませんので、暑さ対策・飲み物のご準備を
お忘れなくご参加ください。

【問い合わせ先】



国立大学法人秋田大学男女共同参画推進室

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 Tel.018-889-2260

E-mail: sankaku2@jimu.akita-u.ac.jp

<https://www.akita-u.ac.jp/coloconi/>

令和元年8月1日(木)に、秋田県総合食品研究センターにおいて、施設見学および女性研究者との交流会を実施しました。当日は、県内各地から19名にご参加いただきました。

はじめに、秋田県総合食品研究センターの概要を説明いただいた後、2班に分かれ施設見学を開始しました。

施設見学では同センターのスタッフの案内で、普段見る機会のない研究室や加工棟などを見学し、参加者は、熱心にメモをとったり、写真撮影をしたりと、終始興味深い様子でした。



研究室紹介

見学後は、同センターの研究内容について説明をしていただき、しょつつるや秋田オリジナル麺「あめこうじ」などの秋田県ならではの食品や食品加工について理解を深めました。その後、2名の女性研究員の方から、理系進路の選択や同センターへの就職のきっかけや経緯について、お話を伺いました。

続いて行われた質疑応答では、研究内容・設備についてや、同センターで働いてよかったこと、センターに就職するためには大学院に進学する必要があるかなど、多岐にわたる質問が活発に出され、大いに盛り上がりました。



食品加工棟見学



「スマイルケア食」紹介



進学・就職のお話を
聞かせていただきました



質問タイム

参加者からのご感想

生徒

- ★理系の大学に進学したいという気持ちが高まりました。とても良い経験になってよかったです。
- ☆以前から興味をもっていた、食品研究センターの見学ができてとても嬉しかったです。私は教員志望ですが、研究員もとても楽しそうな仕事で、やりがいがあるすてきな仕事だと思いました。貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました！！
- ★自分の進路を決めるのに、とても参考になり、参加してよかったなと思います。また、普段学べることのできない体験をさせてもらいました。

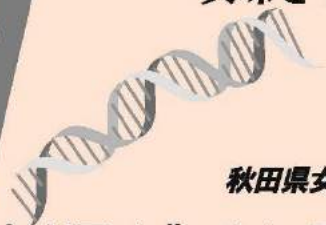
保護者

- ☆とても勉強になりました。理系に興味を持っている子どもに感謝です。
- ★貴重な経験でした。ありがとうございました。県産食品、もっと食べます！
- ☆私も楽しませて頂きました。ありがとうございました。

【体験教室】 果物からゲノムDNAを抽出しよう

事前申込制
申込期限
7/29
(月)

国立研究開発法人科学技術振興機構 女子中高生の理系進路選択支援プログラム 採択事業
興味をキャリアへ あきた理系プロジェクト



秋田県女子中高生向けイベント第2弾～中学生篇～

果物からゲノムDNAを抽出しよう

みなさんはゲノム DNA や遺伝子という言葉に耳にしたことはあると思います。
でも、“ゲノム”、“DNA”、“遺伝子” が、それぞれどんなものなのかわかりますか？
今回はみなさんに、身近な果物からゲノム DNA を取り出して実際に見て学べる
体験教室を開催します。ぜひ、ご参加ください。

【講師紹介】 秋田大学 大学院理工学研究科 生命科学専攻 生命科学コース

疋田 正喜 教授

Masaki Hikida
遺伝子制御で病気の治療法開発に挑む

尾高 雅文 教授

Masafumi Odaka
産業や医療に役立つタンパク質の仕組みを調べる

松村 洋寿 講師

Hirotoishi Matsumura
薬が効く仕組みや農作物の病原菌駆除を目指す

開催
日時

令和元年 8 月 6 日 (火) 13:00 ~ 16:00

会
場

秋田大学 総合研究棟 (理工学部 6 号館) 1 階講義室

対
象

秋田県内の女子中学生 20 名程度とその保護者及び中学・高校の教員
(高校生の方もご希望があれば参加できますが、
応募者多数となった場合は中学生を優先し先着順とさせていただきます)

申込
方法

裏面お申込方法にて、7月29日(月)までお申し込みください。

備
考

筆記用具をお持ちください。

- 体験教室終了後に、大学生の先輩とお話する時間も用意してありますので、ご参加ください。
- 保護者・教員の方向けの進路相談会も同時開催いたします。理系進路選択に疑問や不安がございましたら、どんなことでもこの機会にぜひご相談ください。



【問い合わせ先】

国立大学法人秋田大学男女共同参画推進室
〒010-8502 秋田市手形学園町 1-1 TEL018-889-2260
E-mail : sankaku2@jimu.akita-u.ac.jp
<https://www.akita-u.ac.jp/coloconi/>

保護者・教員の方も参加または
見学することができます。

令和元年8月6日(火)に、秋田大学において、体験教室中学生篇「果物からゲノムDNAを抽出しよう」を実施しました。当日は、県内各地から24名にご参加いただきました。

はじめに、本学大学院理工学研究科の正田教授からDNAに関する講義と実験概要の説明をいただき、実験を開始しました。実験が成功すればDNAを実際に見たり、異なる植物や条件の異なるDNAを見比べたりできます。果たして結果は・・・。



2019.08.06



事前の講義

参加者は、実験器具の扱い方などを学生から教えてもらい、はじめは緊張しながら作業していましたが、実験後半になると、指導教員や学生も驚くほど上手に器具を扱っていました。参加者と学生は、実験レポートの書き方を相談したり、アドバイスしたりと、実験を通じて交流を深めました。

また、保護者も抽出されたDNAをカメラにおさめたり、理系進路や理系就職について教員から話を伺ったりと、積極的に参加されていました。

実験後は正田教授から、実験結果が発表され、その後各班で参加者と学生がフリーディスカッションを楽しみ、閉会をむかえました。



学生から指導を受ける



試薬をセット



相談しながら
実験レポート作成



フリーディスカッション

参加者からのご感想

生徒

- ★今回教えてくれた学生さんがすごいなと感じました。分からないことも、とても分かりやすく、何回も教えてくださいうれしかったです！
- ☆先輩方と話して情報を得たり、他学年、他校の生徒と実験を行ったりしてとても楽しかったです。
- ★今回の体験でより科学が好きになりました。理系への進学も考えてみるようにしたい。
- ☆今回の体験で科学に興味をもつことができた。とても楽しかったし、進路の参考にもなった。

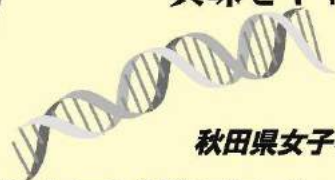
保護者

- ★子どもが活動する時間が多かったためとても良かったと思います。実際に大学で行っている実験器具を使用することで進路に対して前向きな気持ちを持てたと思います。担当して下さったTAの方が話しやすく子ども側から質問しやすい雰囲気を作っていたので良かったと思います。ありがとうございました。
- ☆人数もちょうど良く、学生さんのフォローもあり積極的に参加しているように見えました。教授のお話も素晴らしく拝聴させて頂きました。私も楽しませて頂きました。ありがとうございました。

【体験教室】 DNA鑑定を体験しよう！

事前申込制
申込期限
7/29
(月)

国立研究開発法人科学技術振興機構 女子中高生の理系進路選択支援プログラム 採択事業
興味をキャリアへ あきた理系プロジェクト



秋田県女子中高生向けイベント第3弾～高校生篇～

DNA鑑定を体験しよう！

みなさんは、ニュースやドラマでDNA鑑定という言葉を目にしたことがあるのではないのでしょうか。では、どのように鑑定するかわかりますか？今回は、みなさんに、実際にDNA鑑定を体験していただきます。お昼の休憩時には、理系の女子学生のみなさんとの懇談の場も用意してあります。生物を学んでいない方でも大丈夫です。ぜひ、ご参加ください。

【講師紹介】 秋田大学 大学院理工学研究科 生命科学専攻 生命科学コース

疋田 正喜 教授

Masaki Hikida
遺伝子制御で病気の治療法開発に挑む

尾高 雅文 教授

Masafumi Odaka
産業や医療に役立つタンパク質の仕組みを調べる

松村 洋寿 講師

Hirotooshi Matsumura
薬が効く仕組みや農作物の病原菌駆除を目指す

開催
日時

令和元年8月7日(水) 10:00～15:50

会場

秋田大学 総合研究棟(理工学部6号館)1階講義室

対象

秋田県内の女子高校生20名程度とその保護者及び中学・高校の教員
(中学生の方でも希望があれば参加できますが、
応募者多数となった場合は高校生を優先し先着順とさせていただきます)

申込
方法

裏面お申込方法にて、7月29日(月)までお申し込みください。

備考

筆記用具をお持ちください。

- 昼食は学内の食堂で、学生とお話ししながらとっていただきますので、お弁当をご持参いただくか食堂をご利用ください。
- 保護者・教員の方向けの進路相談会も同時開催いたします。理系進路選択に疑問や不安がございましたら、些細なことでもこの機会にぜひご相談ください。



【問い合わせ先】

国立大学法人秋田大学男女共同参画推進室
〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 TEL018-889-2260
E-mail: sankaku2@jimu.akita-u.ac.jp
<https://www.akita-u.ac.jp/coloconi/>

保護者・教員の方も参加または
見学することができます。

令和元年8月7日(水)に、秋田大学において、体験教室高校生篇「DNA鑑定を体験しよう!」を実施しました。当日は、県内各地から26名にご参加いただきました。

はじめに、本学大学院理工学研究科の尾高教授からDNAに関する講義と実験概要の説明をいただき、実験を開始しました。この実験では、4人の容疑者のDNAと犯人のDNAを可視化して鑑定します。果たして参加者は犯人を見つけることはできるのでしょうか。



2019.08.07

参加者は、実験器具の扱い方などを学生から教えてもらい、

テキストを確認しながら実験を進めました。マイクロピペッターを使って小さなマイクロチューブにDNAサンプルを用意する作業に、最初は慣れない様子でしたが、作業を繰り返すうちに楽しんでいる姿が見られました。午前中の作業が終了すると、参加者と学生は大学の食堂で懇談しながら昼食をとりました。

昼食後は、研究室見学を行いました。参加者は、普段入ることのできない研究室で、教員から研究内容の説明を受けると、興味深い様子で聞いていました。

その後の実験で、電気泳動により可視化された犯人と容疑者達のDNA断片を比較し、見事に犯人を特定しました。



マイクロピペッターを操作

実験後のフリーディスカッションでは、参加者が学生に実験のことや、大学や大学院進学についてなど、様々な質問をすると、学生も丁寧に答え、大いに盛り上がる中閉会しました。



マイクロピペッターで捜査



大学の食堂で
ランチタイム



研究室見学



DNAを比較

参加者からのご感想

生徒

- ★ 高校では体験できないような実験ができた。DNAについての話が聞けて楽しかったです。また、実際に大学生の方にお話を聞いたことで今後の進路を考える上での参考になりました。
- ☆ 私自身進路にどうしようか不安を抱いていたので、今日を通して、自分の意志をはっきりさせるとともに、理系の大学に進みたいと強く思うようになりました。ありがとうございました。
- ★ 初めて本格的な実験を行いました。とても貴重な経験ができたと思います。秋大生の先輩方や他校の人たちとの交流で新しい刺激も得られ、有意義な時間を過ごすことができたと思います。

保護者

- ☆ 本人にとって普段体験することのできない、貴重な体験ができたと思います。学食を利用できたのも良かったです。先生から直接いろいろお話を聞いて参考になりました。遠方なのでこのような企画を学校などに来ていただけて行っていただけだと嬉しいです！
- ★ 今回参加出来たこと、本当に勉強になり良かったです。ありがとうございました。とても良い企画でした。

【保護者教員向け講演】
理系で広がる明るい未来～理工ガールの活躍する社会へ～

国立研究開発法人科学技術振興機構 女子中高生の理系進路選択支援プログラム 探訪事業
興味をキャリアへ あきた理系プロジェクト

【保護者・教員向け講演】

理系で広がる明るい未来 ～理工ガールの活躍する社会へ～

令和元年

11/7 木

15:30 - 16:30

秋田大学教育文化学部
附属中学校教育実習室
(3 階)
秋田市保戸野原の町 7-75

対象＊秋田県内の中高生の保護者
(中学・高校の教員も可)

申込方法＊事前申込制

定員 60名程度

裏面の申込方法をご確認
いただき、申込フォーム
メールまたはFAXにて
お申し込みください。

備考＊駐車場には限り
がございますので
公共交通機関の
ご利用にご協力
ください。



講師紹介



山口 留美子 氏

所属	秋田大学 大学院理工学研究科 共同ライフサイクルデザイン工学専攻
役職	教授
専門分野	光エレクトロニクス、液晶デバイス

ご自身の理系キャリアだけではなく、
『親』『保護者』としてのご経験も含めな
がら、保護者や先生を対象とした理系進
路選択支援に関する講演を行っていただ
きます。

貴重なお話をぜひお聞きください。

秋田市手形学園町 1-1 秋田大学男女共同参画推進室

TEL: 018-889-2260 FAX: 018-889-2219
riki@jimu.akita-u.ac.jp

あきた理系プロジェクト



令和元年11月7日(木)に、秋田大学教育文化学部附属中学校において、保護者・教員向け講演「理系で広がる明るい未来～理工ガールの活躍する社会へ～」を実施しました。当日は、32名にご参加いただきました。

本学大学院理工学研究科の山口留美子教授による講演では、テレビドラマシリーズや大学案内パンフレット、テレビCM、企業等のホームページといった多岐にわたる身近な情報から、女子学生の理系進路選択、理系分野の就職の現状についてお話

いただきました。講演の中で、金融機関などの文系分野と認識されてきた企業においても、理系出身者の採用に力を入れているという現状などが紹介されると、参加者はメモをとるなど熱心に耳を傾けていました。

終了後のアンケートでは、「参加する前は子どもを文系に進ませたいと考えていたが理系に進ませたいと思うようになった」と回答された参加者10名を含め、「子どもを理系に進ませたい」と回答した参加者が92.5%にのぼり、本プロジェクトの目的の一つである「保護者に女子中高生の理系進路選択におけるよき理解者となってもらおう」という部分で効果が得られた取組となりました。



2019.11.07



講演開始直前



講演中の山口教授



身近な情報を使った
分かりやすいお話でした



多くの方に
ご参加いただきました

参加者からのご感想

保護者

- ★大変参考になる内容でした。ただ可能であれば、講師ご自身の子ども時代のことや、理系選択した理由、きっかけ、子育てについて伺いたかったです。
- ☆本人が興味があるので協力する意欲が増した。
- ★理系が文系よりも求められている事が分かり参考になった。
- ☆理系女子が活躍しているのを身近で感じたことがなかったためよく分からなかったが今回知る事が出来た。
- ★銀行等どちらかといえば文系のイメージの企業も、理系の採用に力を入れている事を知り、むしろ、理系である事の優位性を強く感じた。
- ☆男性社会というイメージでしたが、女性が必要とされていることが分かり、理工系を目指す娘を持つ親として安心しました。

理系ツアーin横手

女子中高生 理系ツアーin横手

国立研究開発法人科学技術振興機構 女子中高生の理系進路選択支援プログラム 採択事業
興味をキャリアへ あきた理系プロジェクト

2019
11/9
(土)

「ものづくり」を通して「科学のおもしろさ」を知ってみませんか？

午前の部では、実験等を交えた楽しいお話を聞いた後、**ものづくり実験教室**を行います。

午後の部では、横手市内で「ものづくり」の分野で社会貢献をされている企業の紹介や企業訪問を行い、ものづくりの現場に触れていただきます。

「ものづくり」について知り、「ものづくり」を体験し、

「ものづくり」に触れる貴重な機会です、

是非ご参加ください。

バスで巡る横手市内理系ツアー 乗り遅れ注意、いざ出発！

事前申込制
申込期限
10/31
(木)

丸一日の参加は
もちろん、
午前のみ
午後のみ
参加も
可能です

午前の部
9:45 ~ 11:45
**豊かな発想を生かし
『科学する人』に！**

ユニークな科学実験を通して
科学の楽しさを伝えてくださる
石橋研一先生に、実験やものづく
り活動を交えた楽しいお話を
聞いた後、みなさんに実際に
ものづくりを体験して
いただきます。

→P2 ~ 3

午後の部①
12:45 ~ 13:45
**株式会社アクトラス
企業紹介 & 交流会**

昨年ものづくり日本大賞優秀賞を受賞し
様々な装置、機器を開発、製造販売
ならびに、それらのシステム開発、
製造販売を行う、(株)アクトラスが
企業紹介と、女性社員との
交流会を行ってくれます。

→P2

午後の部②
14:30 ~ 16:00
**株式会社アスター
企業訪問 & 施設見学**

コイル製品・LED 製品・融雪製品など
様々な製品の開発製造を行う企業
(株)アスターに企業訪問します。
さらに今年6月に移転した、
新しい工場を見学させて
いただきます。

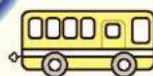
→P3

●参加申込は最終
ページをご確認の
うえ、申込フォーム
E-Mail、またはFAXにて、
お申し込みください。



●保護者・教員の方もご
参加いただけます。

●男子生徒の参加も
可能です。
応募者多数となった
場合は、女子生徒を
優先させていただく
ことがあります。



秋田市手形学園町1-1 秋田大学男女共同参画推進室

TEL: 018-889-2260 FAX: 018-889-2219

rikei@jimu.akita-u.ac.jp あきた理系プロジェクト



理系 午前部 わくわく科学工房 代表 石橋 研一 先生

～ 講演会・ものづくりと実験 ～

講 師

わくわく科学工房
代表 石橋 研一 氏
秋田大学教育文化学部技術部
技術専門員 山下 清次 氏

会 場

横手市交流センター
「Y² (わいわい) ぷらざ」
研修室3 (3階)
秋田県横手市駅前町1番21号

==== 持ち物 =====

●筆記用具 ●プラスドライバー ●定規
●コンパス ●下敷き ●飲み物・昼食
※プラスドライバーは3mmのネジをしめられる
サイズのものをお持ちください。
※昼食の時間は1時間ありますので、お弁当を
ご持参いただくなどのご準備をお願いします。

==== 服装 =====

制服でも私服でも構いませんが、実験中の
安全確保のため、かかとのある、スニーカー
やクツでご参加ください。



豊かな発想を生かし『科学する人』に！

みなさんが大学などの進路の選択・決定をするにあたって、将来の職業は重要なポイントとなりますが、将来の職業を考える際には、自分の適性を見極めるための体験的な学習の積み重ねや情報収集が不可欠です。

今回はそういった機会となるような、実験を交えた講話や実験教室、ものづくり体験を、ユニークな科学実験を通して科学の楽しさを伝えてくださる石橋研一先生に行っていただきますので、ぜひご参加ください。

9:50 講話 「自分の特性を知ろう」 演示実験, 体験活動

10:45 休憩

10:55 ものづくりと実験

「宇宙ゴマ」(持ち帰り), 「バイオリン式発電機」

11:35 まとめ 「豊かな発想はどこから生まれる！」

11:45 終了 昼食タイム

(詳細チラシ 午後の部)

理系 午後部 ① 株式会社アクトラス ～企業紹介・展示実演・交流会～

見つめる、から広がるテクノロジー

ハードウェア開発、組込みソフトウェア開発、研究開発を手掛ける株式会社アクトラス。製造、医療、建築、サービス、スポーツ…様々な分野でそのテクノロジーは活用され、2018年には、開発、製造販売している医薬品注入器検査装置 点滴センサの商品開発が、第7回ものづくり日本大賞 製品・技術開発部門において、『優秀賞』を受賞されています。

今回は株式会社アクトラスさんがY²ぶらざで企業紹介のほか出前展示実演や交流会を行ってくださいます。

理系企業から「もの」が世の中に出て、どのように活用されているのかについて知り、実際の製品や理系企業で働く女性と触れ合う貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

ACTLAS



【点滴センサとアプリのご紹介】



↑第7回ものづくり日本大賞優秀賞を受賞した点滴センサIDC-1501。センサをセットし、滴下開始後数秒で滴下速度を表示。1時間あたりの流量表示に合わせるだけで、滴下数計算が不要に。本体が傾いても計測が可能。一体その仕組みは？



↑「点滴センサ」サポートアプリ「ナースの味方」(iPhoneイメージ)



【女性社員から中高生にメッセージ】

私たちは、製品デザインや性能評価、展示会でのPR活動などに取り組んでいます。

商品化にあたっては、女性ならではの感性がとても大切になります。アクトラスは、個々の能力を活かせる環境であるため、全社が一体となって、日々良いモノづくりを追求しております。

女性の活躍が推進されている今、今回のツアーが皆様の進路選択のきっかけになれば嬉しいです。



<http://www.actlas.co.jp>

理系 午後部 ② 株式会社アスター ～企業訪問・施設見学・交流会～

アスターは未来を創る企業です。

コイル製品・LED製品・融雪製品など、様々なオリジナル製品の開発・製造を行い、すぐれた技術と品質で豊かな社会づくりに貢献する株式会社アスター。自社の名前の付いた代表製品「アスターコイル」を有しながらも、常に新しい発想、常に最上の品質を追求し、その技術や製品を社会に提供してまいります。

今回は6月に移転したばかりの、本社・工場へバスで移動し、施設見学させていただき、ものづくりの現場を見させていただけるかもしれません。

なぜ、既存の製品がありながら新しい技術や発想を求めるのか。アスターイズムに触れ、その答えを導き出してみましょう。

Build a Future

ASTER



【技術・製品のご紹介】



小型で高出力な高効率モーターコイル(ASTコイル)を開発。コイルの大断面積による高出力・小型化が可能となるとともに、自由な形状設計を実現。ところで、コイルとは、どのようなものに使われているのか、ご存じですか？



Spoon Light (スプーンライト) かわいらしい見た目の一方で、高輝度のLEDライトを使用し、200時間点灯可能とパワフルな一面も。

【中高生にメッセージ】

世界中が新しい考え方、方法、

人間力を探しています。

貴女・男にもそのチャンスが必ずあります。

見つけて下さい。

<https://ast-aster.com/>

令和元年11月9日(土)に、横手市で「理系ツアーin横手」を実施しました。

午前の部では、わくわく科学工房代表の石橋研一先生を中心に実験を交えた講演「豊かな発想を生かし、『科学する人』に！」を実施、12名にご参加いただきました。石橋先生は「科学する人」を目指す際に大切な事や必要とされる能力、考え方などについて解説し、テーマ毎に実験を行いました。風力を利用して発電を行い、生じた電気エネルギーを他のエネルギーに変換する演示実験では、音や光の装置が動作する様子を参加者は楽しそうに観察していました。



講演の様子

また、午後の部では、株式会社アクトラスによる企業紹介と、株式会社アスターの施設見学を実施、7名にご参加いただきました。

株式会社アクトラスの企業紹介では、眞田慎社長より会社の概要説明をいただいた後、製品デザインや性能評価、広報などを担当されている2名の女性社員から商品開発から販売までの流れ、その中でのこだわりや大切にしていることについてお話をいただきました。また、ものづくり日本大賞優秀賞を受賞した「点滴センサ」の実演では、参加者は説明に真剣な表情で耳を傾けていました。

その後の株式会社アスターでの施設見学では、稼働中の実際の作業の様子を見せていただいたほか、加工の実演をしていただいたり、製品を手にとらせていただいたりしながら説明を受けました。同社で開発した高効率モーターコイルの説明では、電気計器に製品をつなぎ従来製品との違いを確認すると、うなずいたり、のぞき込んだりと興味深い様子でした。



風力発電装置



(株)アクトラス
デザインクイズ



(株)アクトラス
点滴センサの実演



(株)アスター
スゴイ新工場！

参加者からのご感想

生徒

- ★ 将来にとってもいかなることがいっぱいありました。楽しかったし、勉強になりました。ありがとうございました。
- ☆ 最新の科学を見学でき、とても楽しかった。理系への関心が深まり、良い体験にすることができた。
- ★ 見学が楽しかった。また違う企業の見学をしてみたいと思うようになった。お話を聞いて、自分にはない考え方に触れることができて良かった。今日はありがとうございました。
- ☆ 理系のおもしろさや、生活に活かされている科学についてふれることができ参考になりました。
- ★ 研究施設の見学をしてみたいです。今回は貴重な体験となりました。ありがとうございました。

保護者

- ☆ 貴重な体験をすることができました。とても有意義な時間でした。ありがとうございました。
- ★ 秋田県内にも魅力のある元気な会社があり、嬉しく思いました。

理系フェスin秋田

女子中高生 理系フェスin秋田

国立研究開発法人科学技術振興機構 女子中高生の理系進路選択支援プログラム 試行事業
興味をキャリアへ あきた理系プロジェクト

2019
11/17
(日)

「ものづくり」を通して「科学のおもしろさ」を知ってみませんか？
午前の部では、実験等を交えた楽しいお話を聞いた後、**ものづくり実験教室**を行います。午後の部では、磁石の不思議に迫る体験教室を行います。
「ものづくり」について知り、「ものづくり」を体験し、身近なものを科学する貴重な機会です。また、午後の部では大学生との交流会や、理系進路相談会を行いますので、ぜひご参加ください。

時間 → 10:00 ~ 12:00 会場 → 秋田大学教育文化学部 3号館 3階 342 講義室

午前の部

豊かな発想を生かし『科学する人』に！

ユニークな科学実験を通して科学の楽しさを伝えてくださる石橋研一先生から、実験やものづくり活動を交えた楽しいお話を聞いた後、みなさんに実際に実験やものづくりを体験していただきます。

講師：わくわく科学工房 代表 石橋 研一 氏

秋田大学教育文化学部技術部 技術専門員 山下 清次 氏

★ 持ち物 ★ 筆記用具、プラスドライバー、定規、コンパス、下敷き

ものづくり体験
で作る「宇宙ゴマ」
は持ち帰ることが
できます！

時間 → 13:00 ~ 16:00 会場 → 秋田大学教育文化学部 4号館 2階 219 実験室

午後の部

①磁石って何者？

身近に存在する磁石。「くつつく」以外にも科学してみると様々な不思議や様々な実態が…。一体磁石とは何者なのか、一緒に科学してみましよう。

講師：秋田大学教育文化学部 講師 田口 瑞穂 氏

秋田大学教育文化学部技術部 技術専門員 山下 清次 氏

②学生との交流会 理系進路相談会

申込方法

- 事前申込制・定員各 30 名です。裏面をご確認いただき、申込フォーム、メールまたは FAX にて、お申込ください。
(男子生徒の参加も可能ですが、応募者多数となった場合は、女子生徒を優先し先着順とさせていただきます)
- 一日参加はもちろん、午前のみ、午後への参加も選べます。
- 実験や体験教室の見学の他、理系進路相談会を予定しておりますので保護者・教員の方も、ぜひご参加ください。

申込期限

11/8 金



持ち物 服装

- 午前・午後両方参加される方は昼食をご持参ください。
(昼食時間は 1 時間です。大学の食堂はお休みで、周辺の飲食店は定休日の店舗が多いため、昼食をご持参いただくようお願いいたします。)
- 制服でも私服でも構いませんが、実験中の安全確保のため、かかとのある、スニーカーやクツでご参加ください。

秋田市手形学園町 1-1 秋田大学男女共同参画推進室

TEL: 018-889-2260 FAX: 018-889-2219

✉ rikei@jimu.akita-u.ac.jp

あきた理系プロジェクト



令和元年11月17日(日)に、秋田大学を会場に「理系フェス in秋田」を実施しました。

午前の部では、わくわく科学工房代表の石橋研一先生を中心に実験を交えた講演「豊かな発想を生かし、『科学する人』に！」を実施、8名にご参加いただきました。テーマ毎に実験を組み入れた講演の中で「バイオリン式発電機」を使った実験では、参加者は弓で装置をこすることでメロディーが流れる仕組みに興味津々で、熱心に弓を動かしていました。また、「宇宙ゴマ」を作成するものづくり体験では、CDやマジックペンなど身近なものを材料にコマを作成し、ものづくりに触れました。



宇宙ゴマ作成中

午後の部では、本学教育文化学部 田口瑞穂先生による体験教室「磁石って何者？」を実施、8名にご参加いただきました。体験教室は、田口先生が身近な磁石に関する7つの不思議や疑問を投げかけ、参加者が予想をたてて実験を行い、結果を考察しながら進められました。「誘導電流の不思議」の実験ではアルミ管や銅管の中を磁石が不思議な動きで落ちていく様子に、参加者は驚きながらその理由について様々に考えを巡らせた後に田口先生の解説を聞くと、メモをとるなど熱心な様子でした。また、田口先生は科学者・研究者は発表の機会も多く、自分の考えを相手に伝えるように表現する能力も大切だと伝えると、参加者は真剣な表情で耳を傾けていました。

体験教室に続いて行われた、学生との交流会および保護者の理系進路相談会では、学生に受験についての質問をしたり、実際の試験問題を教えてもらったりと、有意義な時間を過ごせた様子でした。



宇宙ゴマ完成



アルミ管を通る磁石を観察



田口先生の解説



勉強も教えてもらいました

参加者からのご感想

生徒

- ★とても楽しかったです。身近なものでの実験ということで、科学は生活に深くかかわっているのだなと分かりました。
- ☆実験を通して疑問を解決することができて楽しかったです。
- ★苦手な磁石を得意にすることができました。先輩に勉強を教えてもらい、すごく助かりました。
- ☆実験、体験で面白いと感じ、より興味を持ちました。
- ★電気の事や、磁石のことに、今まで全然興味がなかったけど、今日で、少しは、興味を持ててよかったです。

保護者

- ☆子どもの通う中学校で今日の内容の“出前授業”をやっていただきたいです。ありがとうございました。

理系進路選択支援に関する教員との意見交換会

令和2年1月9日(木)に、秋田大学教育文化学部附属中学校を会場に「理系進路選択支援に関する教員との意見交換会」を開催しました。

はじめに、山名裕子室長が本プロジェクトの概要や、今年度の取組内容、課題等を紹介し話題提供を行いました。

続いて行われた意見交換では、プロジェクトに対する質問や、児童生徒の現状、取組に対するアドバイス等、様々な意見が交わされました。



2020.01.09

参加者からのご感想

★各中学校を直接訪問して講座に参加できる状況をつくるのがよいと思う。進路選択の中に理系というイメージを持っていなかった子を取り込めるといいですね。

☆中学校にぜひ来ていただいて男女問わず（女子だから、理系だからという枠でくくられると、特にこれはまだ自分が何者かわからない中学生にはまわりから見られる目というもあるので今の生徒は参加しにくいと思います。）理系に進むことから広がる興味、体験、就職先とそこでの活躍などもわかるような講演、情報交換会、体験教室などやっていただければありがたいです。私自身、特に理系に進ませたいという使命感を持っているわけではない中、畑を耕すにはぜひそういう機会があれば私たちも勉強になります。

★大学教授の出前講座などがあると公立、私立に関わらず児童たちは興味を持ってくれると思います。

☆実際に様々な理系の分野で働いている女性の話をきいたり質問したりする機会があればよい。どんな職種で働いているのかを生徒は知るべき。ありがとうございました。

★男女オープンにした講演、ワークショップにしてはどうでしょうか。以前別のリケジョの講演会に参加した際に、男女のバランスが崩れて変な空気になりました。

☆女性だからこそ生かせる理系分野での力というものを感じ、感激した。



話題提供中



意見交換の様子



質問に答える
山名室長



アンケート結果

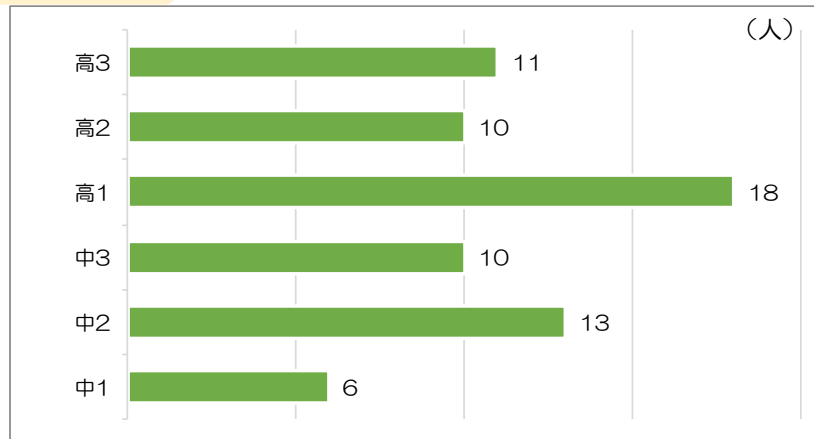
中学生・高校生

保護者

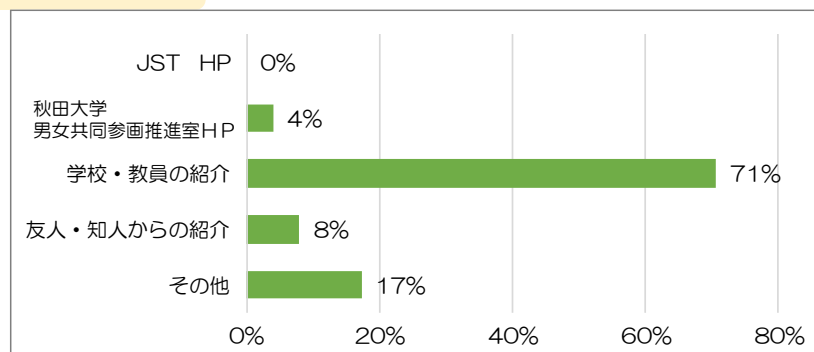
教員

全体のアンケート結果 ～女子中高生～ 回答者数68名

【参加者の学年内訳】

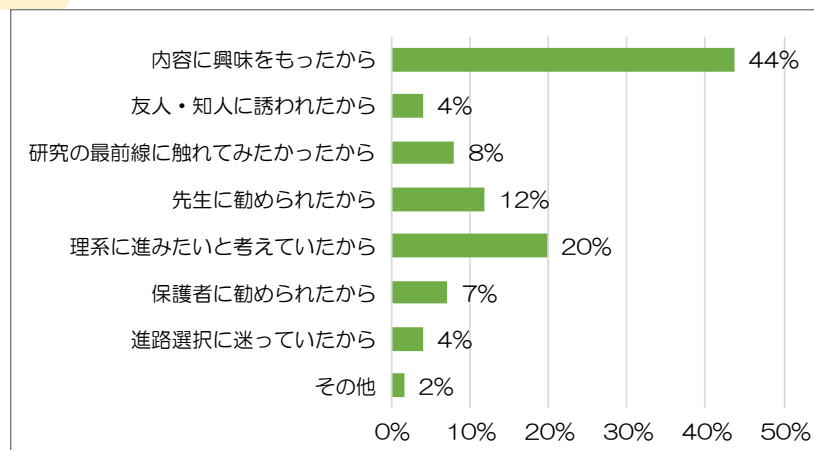


【取組を何で知ったか】



その他…新聞、チラシ、高大連携授業に参加した際
親からの紹介、大学からのメール

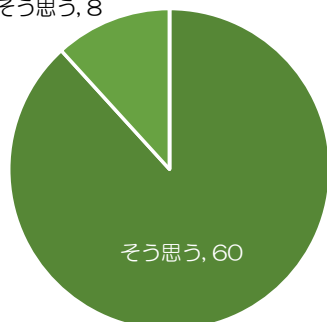
【参加理由】



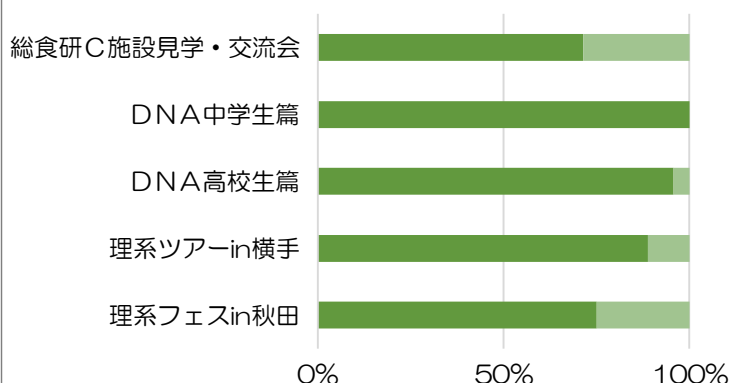
その他…科学部で活かせると思った、理系が苦手だから

【おもしろかったですか？】

どちらかといえば
そう思う, 8

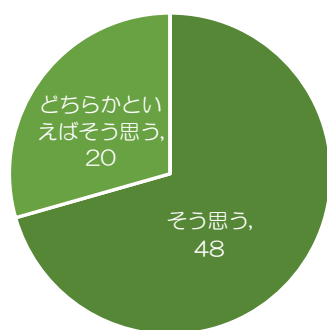


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う

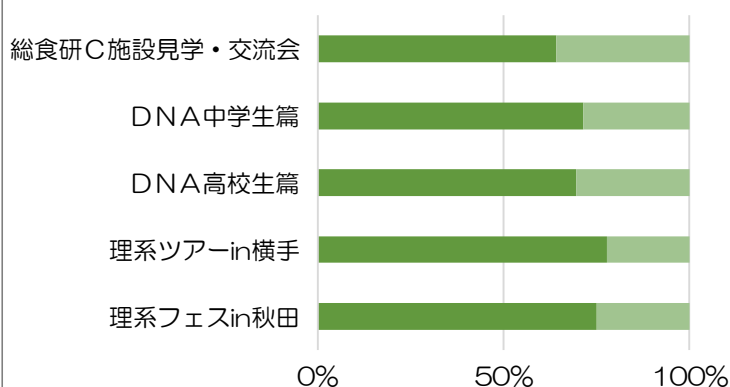


【取組の内容は理解できましたか】

どちらかとい
えばそう思う,
20

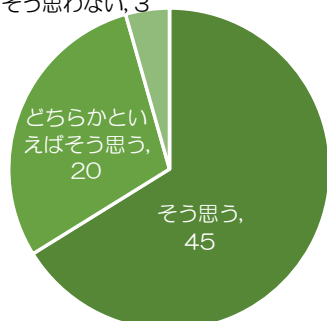


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う



【取組は進路選択の参考になりましたか】

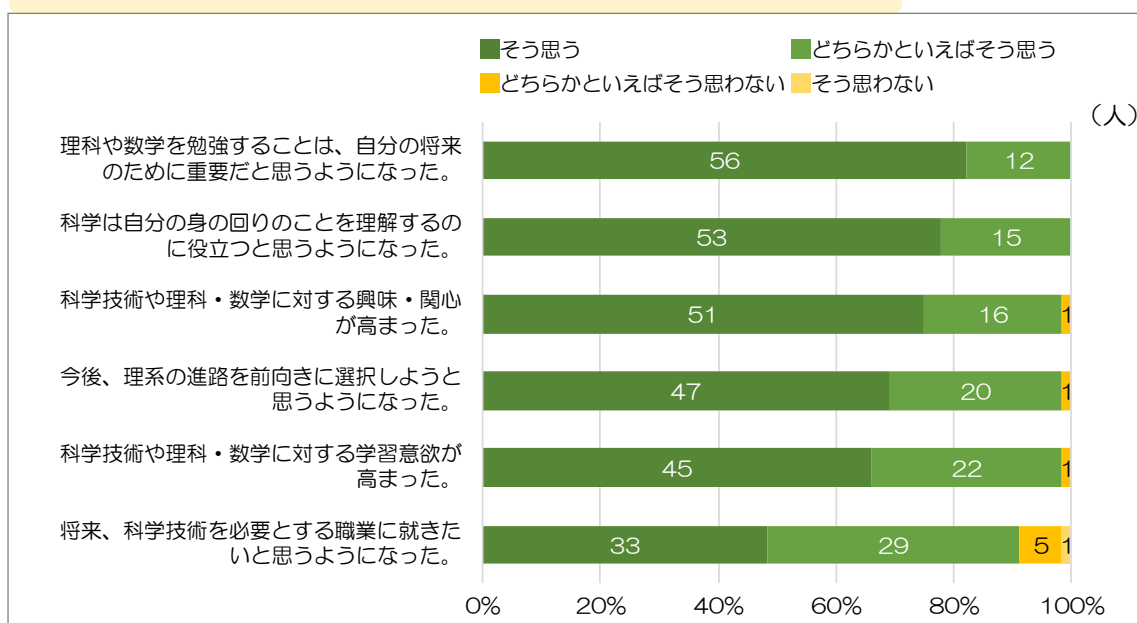
どちらかとい
えば
そう思わない, 3



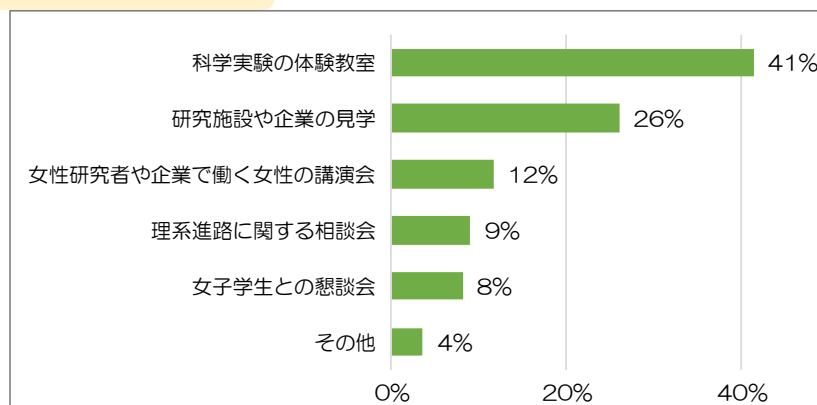
(どんなところが参考になったか (一部))

- 理系に進んだことについて、女性の研究員の方からお話を聞いて自分の考えがとても深まった。
- 普段は見れないような機械や部屋などを見たり、色んな食品に微生物を使っている点が参考になりました。
- 実際に実験してみたり、研究室を見学してみたりしてたくさんの発見ができたし、それによって理工学部に入りたいという意欲がさらにわいた。
- 実際に働いている場所に行って、たくさん説明をもらったこと。これから目指す日本の働きを知ることができたこと。
- 理系のおもしろさや、生活に活かされている科学についてふれることができたこと。

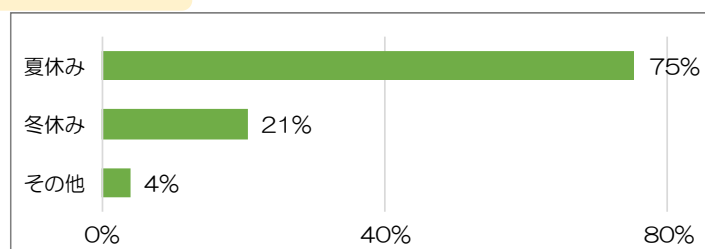
【イベントに参加して、気持ちや考えに変化がありましたか？】



【今後参加してみたい取組】

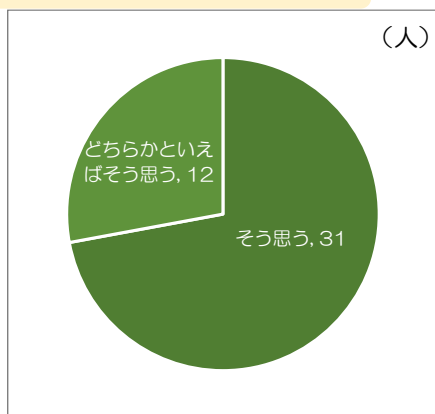


【参加しやすい時期】

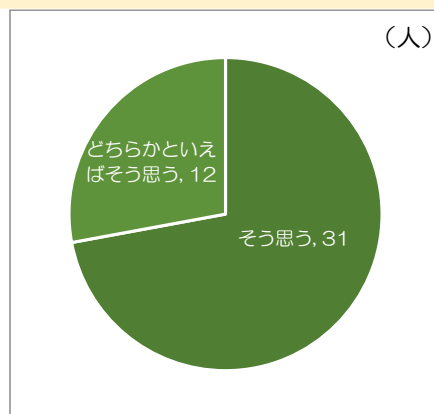


全体のアンケート結果 ～保護者～ 回答者数43名

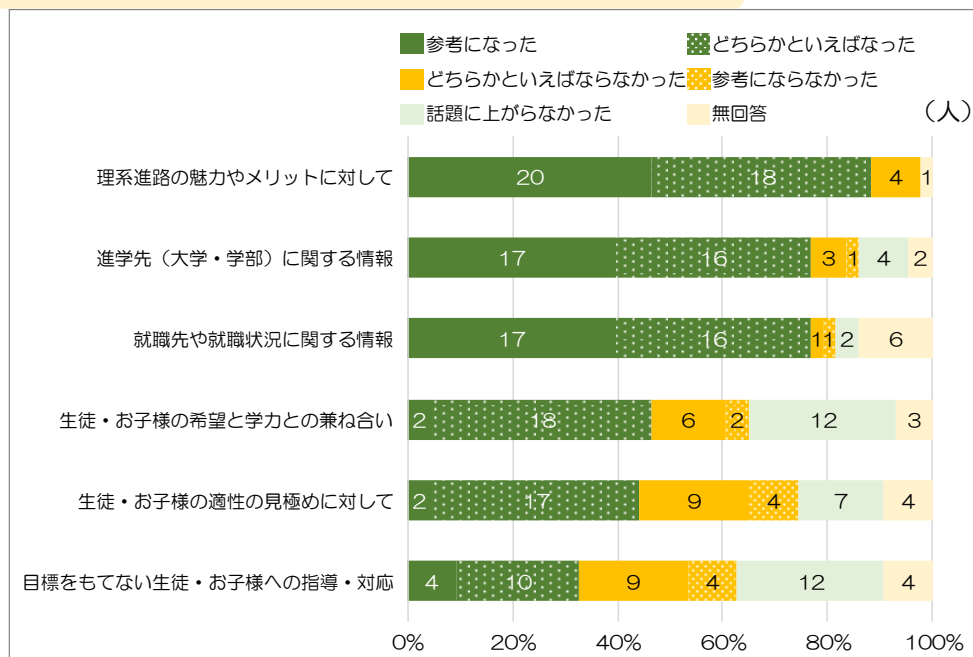
【おもしろかったですか？】



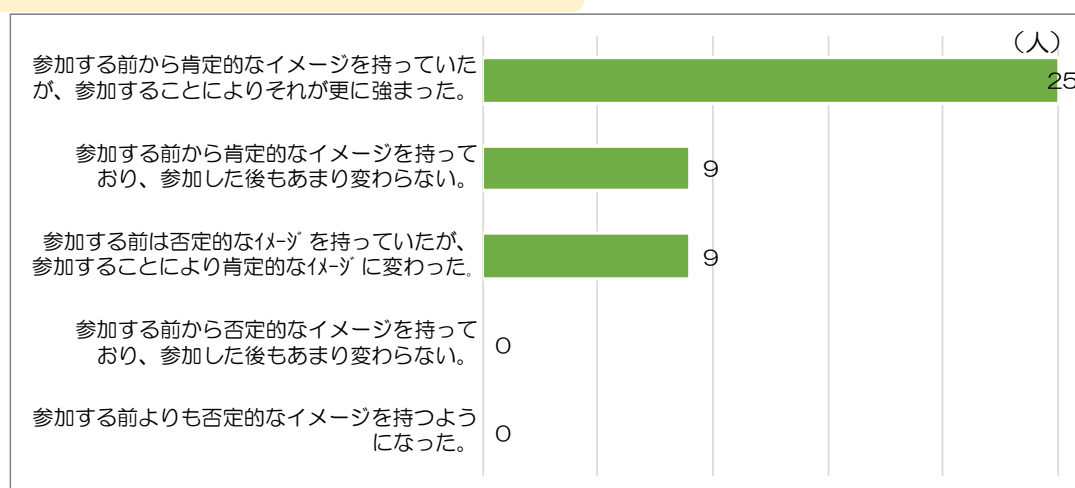
【取組の内容は理解できましたか？】



【取組に参加したことで次の項目の参考になりましたか？】



【理系職業へつくことへのイメージの変化】



各項目の回答理由（一部）

A) 参加する前から肯定的なイメージを持っていたが、参加することによりそれが更に強まった。

- 研究職は特に女性に向いているのではないかと感じた。女性研究員の話から、好きな事を仕事にした上でプライベートとのバランスが取りやすいのかと感じた。
- TAの方が生き生きとしてとても充実した大学生活を過ごされているのがわかったため。

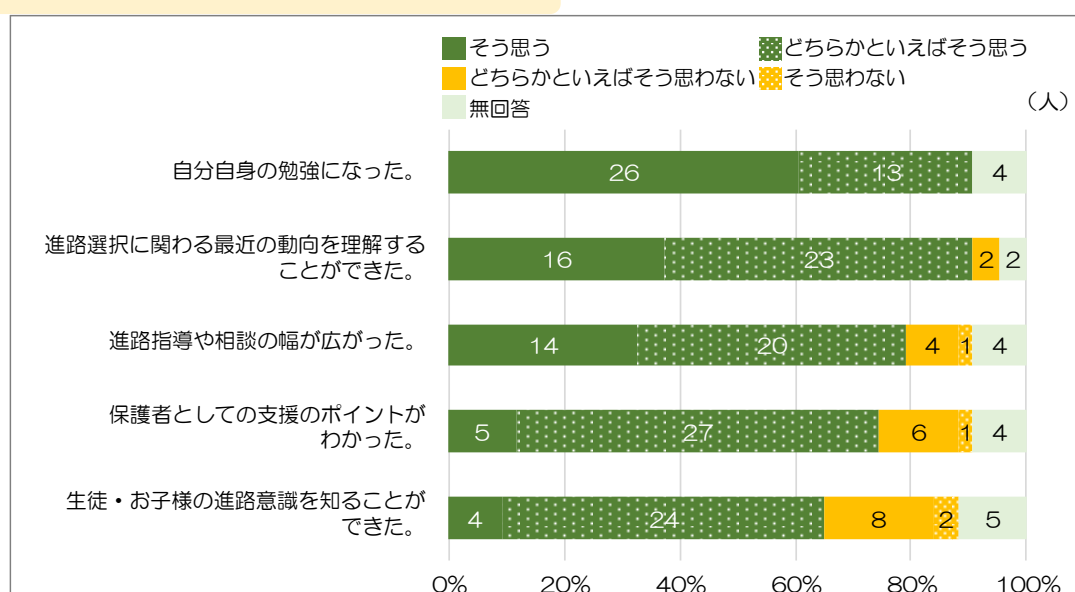
B) 参加する前から肯定的なイメージを持っており、参加した後もあまり変わらない。

- 性別に関係なく、理系に興味があり、その道に進む力が備わっているのであれば、本人の希望通りに歩んでいってもらいたいと思っていたから。

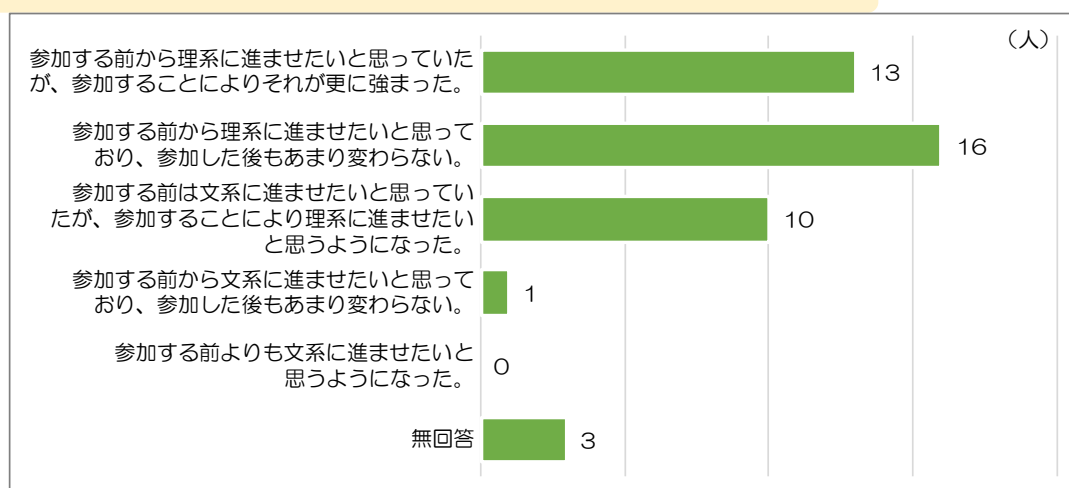
C) 参加する前は否定的なイメージを持っていたが、参加することにより肯定的なイメージに変わった。

- 銀行等どちらかといえば文系のイメージの企業も、理系の採用に力を入れている事を知り、むしろ、理系である事の優位性を強く感じた為。
- 男性社会というイメージでしたが、女性が必要とされていることが分かり、理工系を目指す娘を持つ親として安心しました。

【取組に参加したことによる意義や効果】



【取組に参加したことによりお子様を理系に進ませたくなったか】



各項目の回答理由（一部）

A) 参加する前から理系に進ませたいと思っていたが、参加することによりそれが更に強まった。

- ・ 子供は教職を目指しているが（理数）、今回研究職についても見せていただくことができて、考えの幅が広がったように思います。
- ・ 予想以上に女子学生がいらっしまったので、理系に進学しても、その先の就職先も、大丈夫かと思いました。

B) 参加する前から理系に進ませたいと思っており、参加した後もあまり変わらない。

- ・ 理系の方が就職先の条件が良いイメージがあり、それが変わらなかった。
- ・ 本人の希望に任せたいと思っており、悩める時期もあったが、今は理系を希望しているので。親も同様です。

C) 参加する前は文系に進ませたいと思っていたが、参加することにより理系に進ませたいと思うようになった。

- ・ 就職のことを考えたときに文系よりかなり有利なようなので。

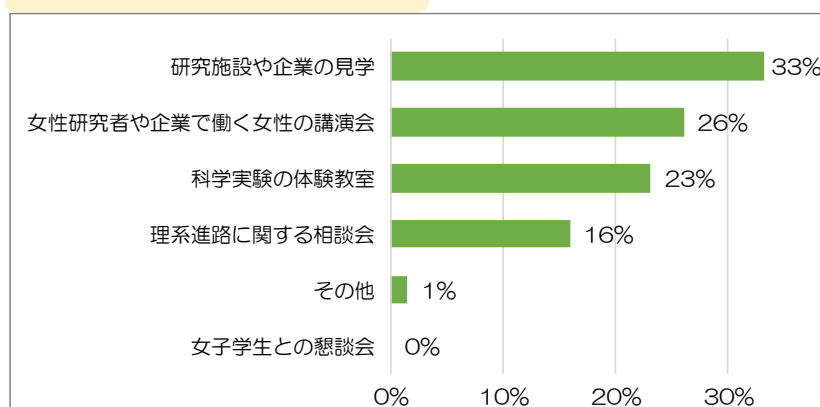
D) 参加する前から文系に進ませたいと思っており、参加した後もあまり変わらない。

- ・ 本人が理系が苦手なので

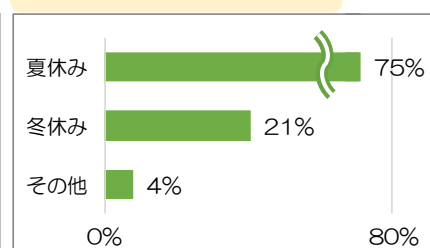
無 回 答

- ・ どれもあてはまりません。（子供の意志がまだ固まっていないので）なるべく本人の気持ちで決めさせ進ませたいので。
- ・ 文系・理系に限らず、進路は子ども本人のやりたいことを応援したいと考えているから

【今後参加してみたい取組】

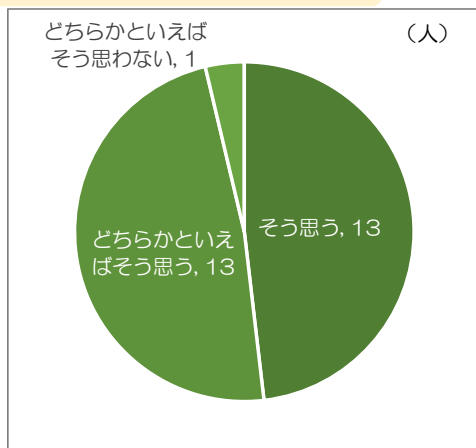


【参加しやすい時期】

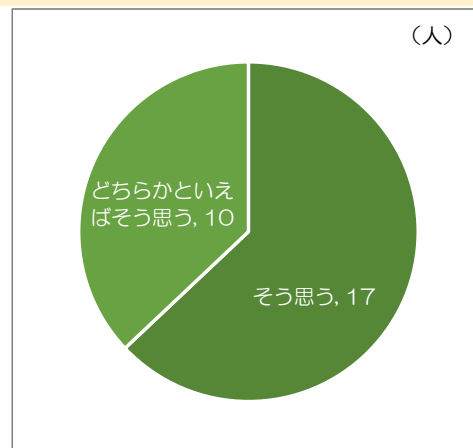


全体のアンケート結果 ～教員～ 回答者数27名

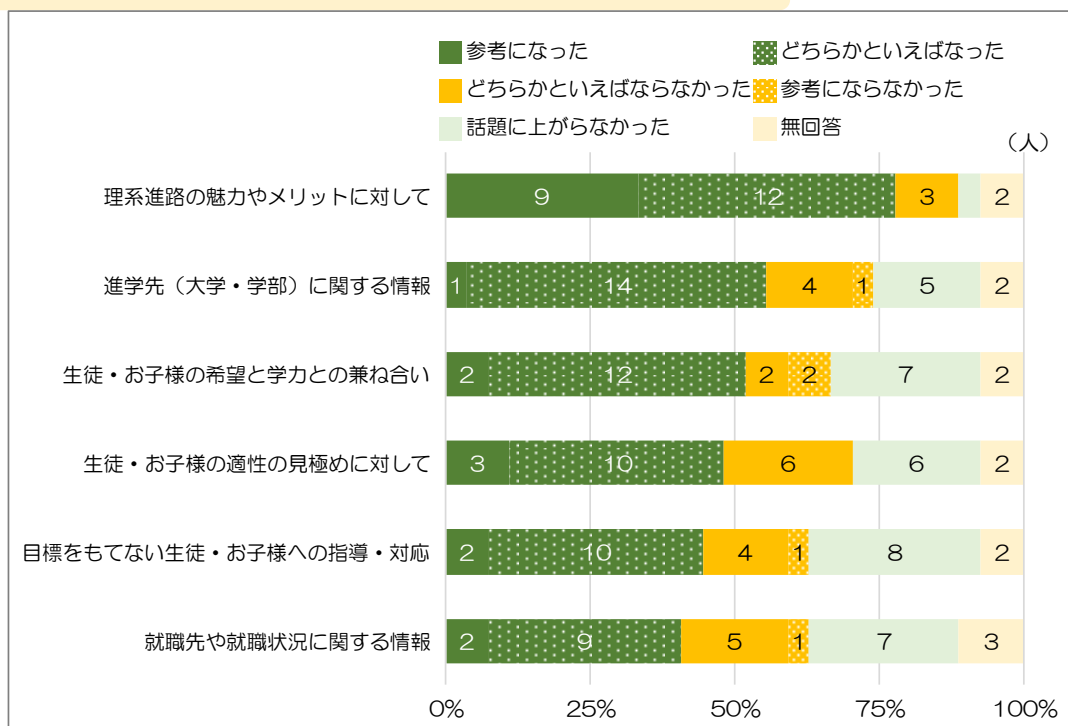
【おもしろかったですか？】



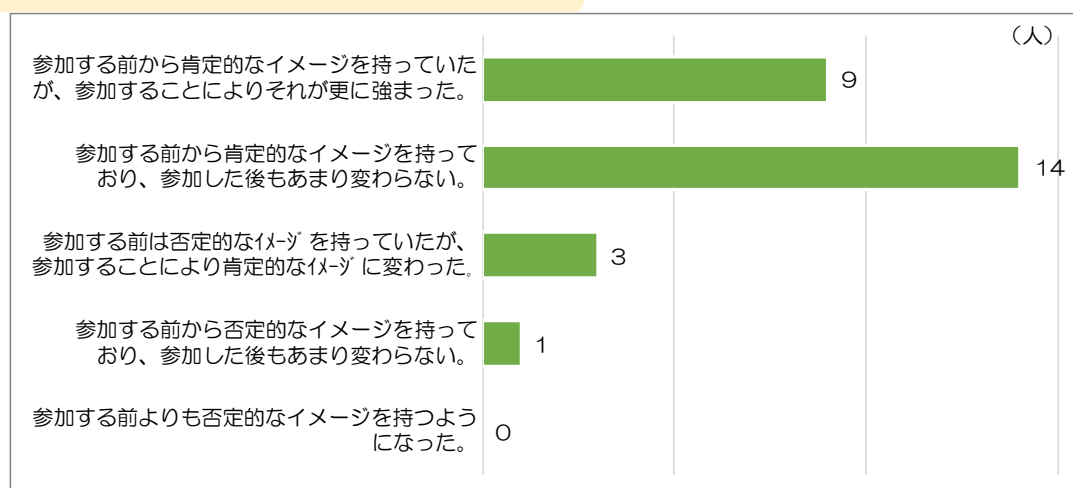
【取組の内容は理解できましたか？】



【取組に参加したことで次の項目の参考になりましたか？】



【理系職業へつくことへのイメージの変化】



各項目の回答理由（一部）

参加する前から肯定的なイメージを持っていたが、参加することによりそれが更に強まった。

- ・ 時代に合わせて理系女子の必要性を考えられていて、様々な取り組みがあることがわかったので勉強になった。

参加する前から肯定的なイメージを持っており、参加した後もあまり変わらない。

- ・ 理系女子は必要であると思います。その育成プログラムの作成は簡単ではないと感じます。中学校の進路指導のプログラムに「理系女育成」の要素を加えるだけで違ってくると感じます。

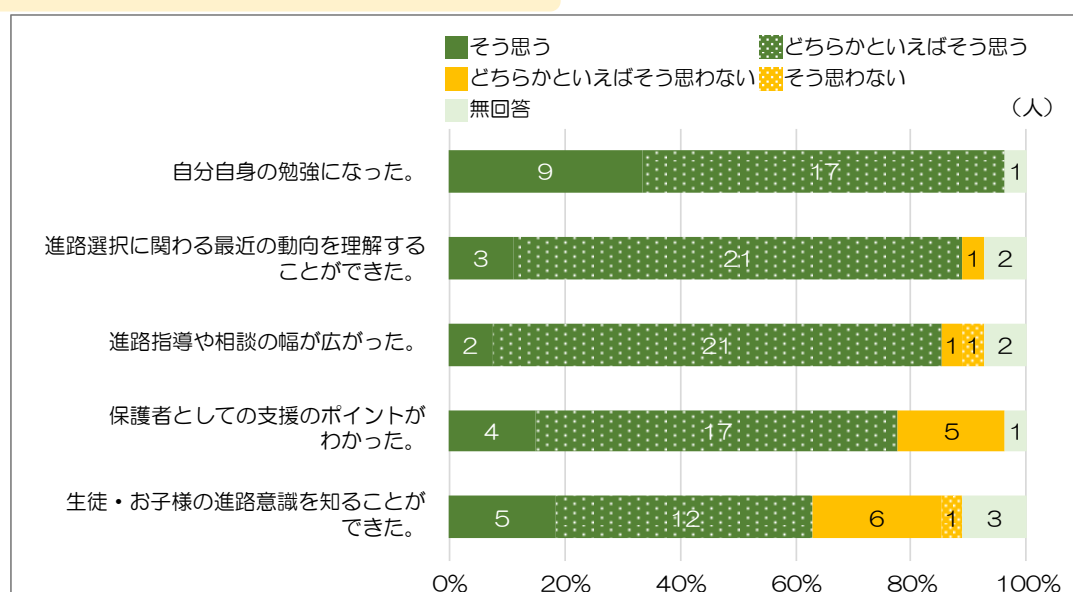
参加する前は否定的なイメージを持っていたが、参加することにより肯定的なイメージに変わった。

- ・ 理系の職業に「女性の視点を」という考え方やニーズがあるということ。

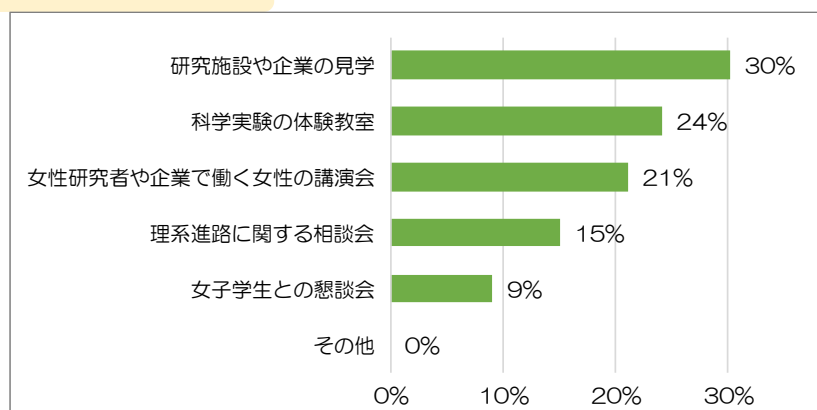
参加する前から否定的なイメージを持っており、参加した後もあまり変わらない。

- ・ 理系の職場で活躍している女性は多くなってきていると思うが、まだまだ「男性の職場」であり、女性が働きやすいかというと、そうではないイメージはなかなかぬぐえない。

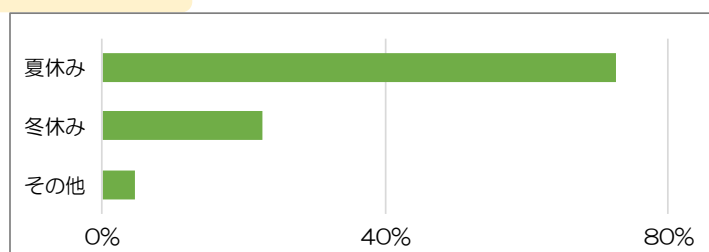
【取組に参加したことによる意義や効果】



【今後参加してみたい取組】



【参加しやすい時期】



今年度は138名の参加者から、アンケートにご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

おかげ様で、多くの貴重なご意見や、今後、取組を企画する上で励みとなるご感想をいただくことができました。

皆様からいただきましたご意見・ご要望を来年度の取組に活かしていきたいと考えております。

THANK YOU



新聞掲載記事

あなたも『リケジョ』に！！ 令和元年07月06日

理系の面白さ知って 令和元年10月18日

リケジョもっと増やそう 令和元年11月13日

秋田大 県内中高生対象に 関心高める催し続々

あなたも『リケジョ』に!!

「リケジョ」を目指しませんか。秋田大学（山本文雄学長）は本年度、理系分野に進む女子中高生を増やそうと、新事業「興味をキャリアへ あきた理系プロジェクト」を始める。ものづくりや研究の現場体験、女性研究者との交流会といったイベントを通じて、理系への関心を高める狙い。女子中高生や保護者らを対象に、イベントの参加者を募集している。

（遠藤卓之）

秋田大男女共同参画推進室 生まれることを期待している」と話す。

同プロジェクトは県教育委員会との共同事業で、県内の官民8組織と連携する。国立

大学進学者の主な学部別割合
今春の県内高校卒業生

	男子	女子
人文	112 (7.1)	207 (14.0)
法、経済 など	508 (32.2)	275 (18.6)
教育	96 (6.0)	136 (9.2)
工	412 (26.1)	96 (6.5)
理	43 (2.7)	23 (1.5)
農	72 (4.5)	54 (3.6)
医・歯・薬	45 (2.8)	47 (6.2)
看護など	98 (6.2)	337 (22.8)



※対象は4年制大学
※単位は人（）内は%

今春県内高卒者の大学進学 工学系女子わずか96人

研究開発法人科学技術振興機構（本部・埼玉県）の助成事業に採択され、来年度まで計約600万円の補助金を受けて実施する。

第1弾となる県総合食品研究センターの見学は来月1日午後1時から。県内の女子中高生と保護者、教員が対象で、定員は先着30人。希望者はメール（sankaku2@jimua.kita-u.ac.jp）かファックス（018・8899・2219）で26日まで申し込む。

申し込み、問い合わせは秋田大男女共同参画推進室 018・8899・2260

県教育庁高校教育課によると、県内で今年3月に高校（全日制）を卒業して4年制大学へ進学した3049人（男子1576、女子1473）のうち、工学系に進学した女子生徒は96人だった。男子生徒は412人で、男女差が目立った。女子は理系や農学系も少ない一方、看護系が高く、例年ほぼ同様の傾向にあるという。

理系分野で女子の比率が低い状況について、県央部の公立高校の進路指導主事は「女子生徒は身近でイメージしやすい職業から進路を選択している印象がある」と話す。進路選択の幅を広げる上では、

文部科学省の指定を受けて理科、数学教育を重点的に行う「スーパーサイエンスハイスクール」制度の活用や、大学と連携した取り組みが有効とみている。

理科教育に詳しい日体大児童スポーツ教育学部の稲田結美准教授は「『理系は女子になじまない、苦勞する』といった誤った社会通念が影響している。理系に関する能力は性差より個人差が大きい」と分析。「理系への関心が低い女子児童・生徒にも働き掛け、裾野を広げる取り組みが大切」と話した。

理系の面白さ知って

秋田大学（山本文雄学長）は11月9日に横手市で「理系ツアー」、同17日に秋田市で「理系フェス」を開く。実験やものづくり体験を通じ、理系分野に関心を持ってもらう狙い。女子中高生を主な対象に参加者を募集している。

秋田大体験イベント

来月、横手市と秋田市で

理系に進む女子の増加を図ろうと、同大が本年度始めたプロジェクトの一環。9日は横手市のY Plazaで初歩的な実験などを体験後、市内企業を訪れ製造現場を見学する。17日は秋田市の秋田大手形キヤンパスで、磁石を使った実

験に挑戦するほか、理系分野で学ぶ女子学生と交流する。ともに午前9時半～午後4時半、定員30人（先着順）。定員に空きがある場合は男子も参加できる。申し込みの締め切りは横手市が10月31日、秋田市が11月8日。無料。

保護者・教員向けの講演会も11月7日午後3時半から、秋田市の秋田大付属中学校で

開催する。講師は同大大学院理工学研究科の山口留美子教授。定員60人。事前申し込みが必要。

各イベントはメール（rikei@jimmu.akita-u.ac.jp）かファクス（018・889・2219）、または大学ホームページから申し込む。問い合わせは同大男女共同参画推進室☎018・889・2260

© 秋田魁新報社 20191018 秋田魁新報

秋田大プロジェクトin横手

リケジョもっと増やそう

中高生、理系職場を見学

女子中高生を主な対象とした秋田大学の「理系ツアーin横手」が9日、横手市内で開かれた。同市などから9人が参加。企業担当者との交流や工場訪問を通じ、ものづくりへの関心を高めた。理系に進む女子を増やそうと、同大が本年度始めた「興味をキャリアへあきた理系プロジェクト」の一環。

Y Plazaでは、医療や農業向けの電子機器などを製造販売しているアクトラスの営業企画部の女性社員2人が、商品開発からPR、販売までの流れを説明。参加者は真剣な表情で耳を傾けた。看護師の負担が軽減され、医療現場で広く活用されている「点滴センサ」の商品化に携わった藤井泉水さんは「開



女子中高生がものづくりへの理解を深めた理系ツアー

発するだけでなく、求めている人に届けるまでが大事」とものづくりへのこだわりを語った。点滴センサについても詳しく説明し「現場から評価の声を聞いたときは、やりがいを感じる」と強調。「多くの女子生徒に興味を持ってほしい」と呼び掛けた。

参加した湯沢高2年の佐藤亜美さんは「理科の教員である母の影響で理系分野に興味を持った。話を聞いて、客観的に見ることでさまざまな物を生み出せるんだなと思った。将来は化学系の職業に就きたい」と笑顔で語った。

一行はその後、自動車部品製造のアスター（同市）を見学した。

同大は17日、プロジェクトの一環で「理系フェス」を秋田市の秋田大手形キヤンパスで開く。

（阿部拓郎）

© 秋田魁新報社 20191113 秋田魁新報

あきた理系プロジェクト

あきた理系プロジェクト

あきた理系プロジェクト

あきた理系プロジェクト

あきた理系プロジェクト

あきた理系プロジェクト

あきた理系プロジェクト

あきた理系プロジェクト

あきた理系プロジェクト



本プロジェクトについて

背景・目的

概要図

背景・目的

背景1

女子中高生の理系進学率が低い！



中学・高校での女子の理系進路への
興味を促す取組が必要 

背景2

女性研究者、特に理系の研究者が
県内では少ない！



次世代を担う女性研究者等を養成
する取組が必要 

目的

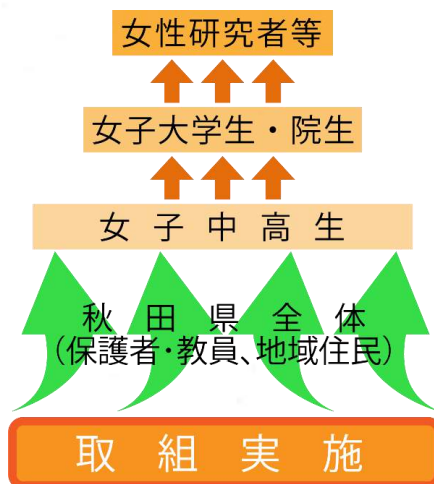
理系女子学生の増加

理系に関する体験や、大学生・大学院生や若手女性研究者などとの交流を
とおして、理系進路を選ぶことで将来の職業の選択肢が増えることを知る
きっかけとなるイベントを開催します。

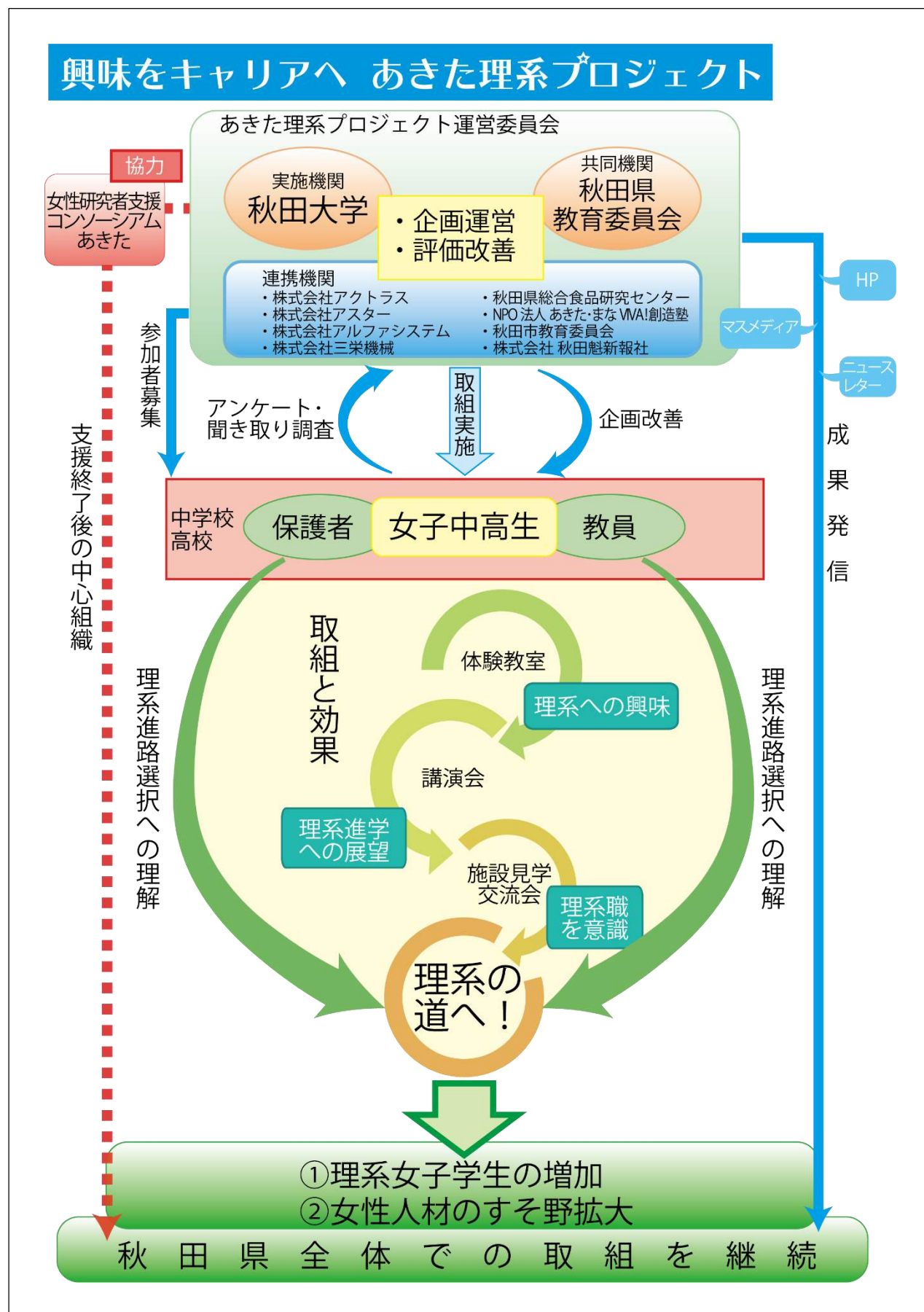
女性人材のすそ野拡大

次世代を担う女性研究者等を秋田県でバックアップします。

女子中高生の皆さんが
「将来なりたい！」と希望する
お仕事に「研究者」や「技術者」
が挙がるよう「理系、楽しい」と
感じられるような企画に
取り組みます



概要図



さいごに



女子中高生の皆様へ

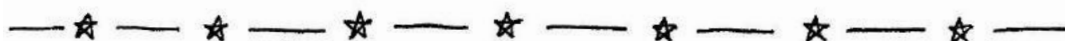
今年度のイベントに参加して下さった皆さん、ありがとうございました。

今回の体験を通して、皆さんが科学をより身近に感じ、進路を考えるヒントになってくれたらうれしいです。

そして、来年度も皆さんの興味を刺激できるようなイベントを企画しています。理科、数学はちょっと苦手…と思っている人にも、なんだかおもしろそう、「やってみたら楽しかった！」そう感じてもらえるような機会になれば、と思っています。

来年度、皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

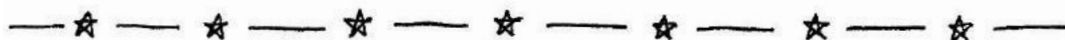
スタッフ一同



イベント開催情報やイベントの報告はホームページでも
公開していますので、ぜひご覧ください。

<https://www.akita-u.ac.jp/coloconi/project/>

あきた理系プロジェクト



編集発行

国立大学法人秋田大学 男女共同参画推進室

秋田県秋田市手形学園町1-1 〒010-8502

TEL:018-889-2260 FAX:018-889-2219

mail : rikei@jimmu.akita-u.ac.jp

～～～参加者のご感想～～～

- ★最新の科学を見学でき、とても楽しかった。理系への関心が深まり、良い体験にすることができた。
- ★苦手な磁石を得意にすることができました。
- ★今回の体験でより科学が好きになりました。理系への進学も考えてみるようにしたい。
- ★理系の内容に興味をもてないものが多いが実験が楽しく、おもしろいと思えた。
- ★秋大生の先輩方や他校の人たちとの交流で新しい刺激も得られ、有意義な時間を過ごすことができたと思います。



2019.11



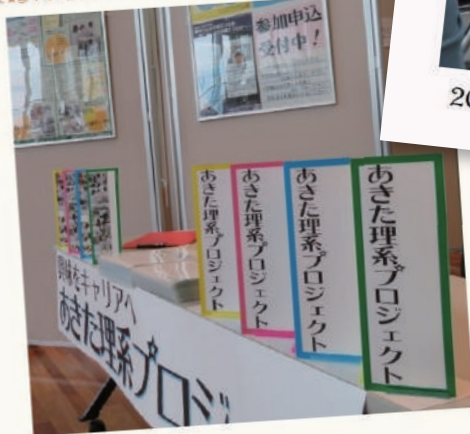
2019.07



2019.11



2019.07



2019.11